

予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：交通対策費

事業名 リニア中央新幹線活用戦略推進プロジェクト事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

都市建築部 都市公園整備局
公共交通課 リニア推進係

電話番号：058-272-1111(内4933)

E-mail：c11134@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 30,000 千円 (前年度予算額： 30,000 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	30,000	13,879	0	0	0	0	0	0	16,121
要求額	30,000	13,553	0	0	0	0	0	0	16,447
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

リニア開業を見据えたまちづくりは、平成26年3月に「リニア中央新幹線活用戦略(以下「活用戦略」という。)」を策定し取り組んできたところであるが、同戦略策定から8年余りが経過したことから、リニア開業効果をより高く得るため、新次元の地方分散、SDGsの達成、盛土・残土等の環境対策といった新たな観点も加えて、令和4年度に改訂を行うこととしている。

活用戦略(改訂版)に掲げる4つの新たな重点施策(※)の推進に向けた取組みを推進する必要がある。

【4つの新たな重点施策】

- ①東美濃の森林や伝統文化を活かし、創造性あふれるまちづくり
- ②防災や環境に配慮した安全・安心なまちづくり
- ③リニア岐阜県駅及び駅周辺の「岐阜県」らしさの追求
- ④職の選択肢の拡大や教育の充実等による地域を担う人づくり

(2) 事業内容

改訂版「県リニア中央新幹線活用戦略」の進捗状況のフォローアップや4つの新たな重点施策の推進に向けて、関連会議の開催等を実施する。

- ・リニア活用戦略ブラッシュアップ懇談会
- ・岐阜県らしいリニア駅・周辺整備検討会
- ・地域を担う人づくり検討会
- ・森のまちづくり構想実現WG
- ・環境に配慮したまちづくりWG

(3) 県負担・補助率の考え方

県10/10（県全体の広域的な観点で検討が必要な取組みであるため）

(4) 類似事業の有無

なし

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	3,455	ブラッシュアップ懇談会、検討会、WG委員への出席報酬等
旅費	2,805	ブラッシュアップ懇談会、検討会、WG委員への費用弁償等
消耗品費	1,258	消耗品
会議費	113	会議費
委託料	21,466	企画調整業務、ヒアリング、各種調査
使用料	903	会場使用料
合計	30,000	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

○「清流の国ぎふ」創生総合戦略（2019年3月）

(2)次世代を見据えた産業の振興

⑤産業を支える広域ネットワーク・インフラの整備

観光・産業振興や基盤整備などリニアを活用した地域づくりを戦略的に推進する。

(2) 国・他県の状況

・「デジタル田園都市国家構想」の実現に向け、三大都市圏やその周辺地域をつなぐ高速かつ安定的な交通インフラとして、リニアの早期整備促進を明記

・岐阜県と同様、中間駅が設置される長野県と山梨県でも、それぞれ「長野県リニア活用基本構想」「リニアやまなしビジョン」を策定済

(3) 後年度の財政負担

活用戦略（改訂版）に基づき、継続的に実施

(4) 事業主体及びその妥当性

リニア開業効果を県内に広く波及させていくため取組みであることから、県が主体となって戦略を推進

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

リニア中央新幹線活用戦略（改訂版）で掲げた4つの新たな重点施策を実現させ、リニア開業効果を県内全域に波及させる。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

活用戦略の進捗管理は、定量的な数値による表現に馴染まないことから、指標を定めることができない。

（これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和 3 年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和 4 年度	<p style="color: red;">令和6年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない	
(評価) 2	活用戦略(改訂版)に基づく取組みは、リニア開業効果を全県的に波及させる手段であり、事業の必要性が高い。
・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない	
(評価)	
・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) 2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている	
(評価)	

(今後の課題)

・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 活用戦略の実現に向けた各種施策の目標時期の可視化、施策の進捗管理及び事業効果を検証し、必要に応じて事業の見直しを図る必要がある。

(次年度の方向性)

・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか リニア開業に向け、活用戦略(改訂版)に基づき、着実に施策を推進していく。
